

13 施設・設備

進捗状況報告

施設関係では、「神戸三田キャンパス第3期整備計画」に基づき、2007年度より「共用棟」の建設が始まっている。完成時には、事務室の移転が計画されている。また、新学科増設にともないIV号館北側にV号館の建設が2008年5月から始まっているが、内部仕様については、理工学部の建築委員会で様々な角度から議論が行われた。学生の生活環境を改善するため、フードコンビニを神戸三田キャンパス内に設置し、生協食堂の営業時間外にも食料品を購入出来るようにした。しかし学生の休憩場所、食堂の充実は進展していない。管理体制については、2006年度に2件の火災が発生したことを受けて、危機管理の徹底を継続した。具体的には、各研究室の管理状況の査察と改善勧告、平日午後9時以降と休日の居残者の届出の徹底などの措置を継続して行った。また、安全管理マニュアルを作成し、防毒マスクを購入した。一方、火災時の避難に際して、防火扉等で車椅子使用者の避難が困難になることが予想され、改善策を検討しているがまだ実行に移されていない。

学内第三者評価

学部改組に際して施設の充実が具体化しつつあることは評価できる。もっとも学生の休憩場所の確保や、食堂の充実はなお課題である。防災上の管理体制については取り組みが進んでいるが、なお施設面で改善を要する課題が残されている。